

アナモレリンの導入タイミングの調査に関する研究

1. 研究の対象

2021年8月から2024年8月の間に、当センターで新たにアナモレリンが処方された方

2. 研究目的・方法

グレリン様作用薬であるアナモレリンが、がん悪液質治療薬として本邦で初めて保険収載された。がん悪液質は肺がんや消化器がんの場合、進行がんの診断の時点ですでに半数近くで認められるという報告がある。そのため、早期介入が望ましいとされているが、実際にはできていない可能性が懸念される。そこでアナモレリンの導入タイミングを調査し、現状と課題を明らかとすることを目的とします。

研究実施期間：5年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、PS、癌腫、転移巣、mGPS、アナモレリンの継続期間、アナモレリン開始から死亡までの生存期間、食欲の改善の有無、アナモレリン中止理由 等

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関への情報提供は、匿名化番号を用いて、特定の関係者以外が個人を識別し得る情報にアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究機関名：

埼玉県立がんセンター 薬剤部 武井大輔

星薬科大学 佐野元彦

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：埼玉県立がんセンター 薬剤部 担当：武井大輔

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780

電話番号：048-722-1111（代表）

-----以上